

令和8年
2026年

4月9日
木曜日

第11927号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料 (前納)
年間 82,080円
(税込み)
6カ月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
https://www.shokuniku.co.jp/

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



▶ オーストラリア大使館、FOODEXでオーギーラムの魅力訴求…………… P 2～3

▶ [食肉家計調査・2月] 支出肉類計は4・8%増加し8023円、精肉・加工品ともに支出増…………… P 4

▶ [調理食品支出金額・2月] 合計1万2694円で4・9%増…………… P 5

▶ オークワの2月期決算は、ディスカウンター攻勢で苦戦ながら増収増益…………… P 5

▶ 近江牛バーガー-SUDAKU、ゆずの爽やかな香りを楽しむ春限定バーガー2種を発売…………… P 5

▶ 日英両国が有機畜産物・畜産加工品の相互承認を開始…………… P 6

▶ 中国政府、養豚目標数の下方修正を予告、中国で食料需要の減少が継続…………… P 6～7

▶ 和牛通販サイト「Wagyu Selection」が「和牛ギフト」「自宅用」展開…………… P 7

▶ [資料] 2026年2月分の食肉輸入通関実績⑧…………… P 8

▶ [資料] 2026年2月分の食肉輸入通関実績⑨…………… P 9

▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数] 8日…………… P 10

▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場] 8日…………… P 11

注目のヘッドライン

オーストラリア大使館、FOODEXでオーギーラムの魅力訴求

オーストラリア大使館商務部は3月10～13日、東京ビッグサイトで開催されたFOODEX JAPAN2026で各州政府、産業団体と連携し、「オーストラリアパビリオン」を出展した。

…詳細はP2～3

[食肉家計調査・2月] 支出肉類計は4・8%増加し8023円、精肉・加工品ともに支出増

…詳細はP4

職人の技を次世代へ

改訂新版

牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

職人の技

カラー
写真

丁寧な
解説

B5判/216頁

定価 5,500円 (税込) (送料別)

食肉通信社



オーストラリア大使館、FOODEX でオージーラムの魅力訴求

オーストラリア大使館商務部はこのほど、東京ビッグサイトで開催されたFOODEX JAPAN2026で各州政府、産業団体と連携し、「オーストラリアパビリオン」を出展。パビリオンには約100社の豪州企業が来日し、日本の輸入業者、卸、小売、外食関係者の多様なニーズに応える提案を行った。今回、特に注目を集めたのが、オージーラムだ。パビリオン内には、MLA(ミート・アンド・ライブストック・オーストラリア)と連携し、ラムの特設ブースを展開。連日プレミアムなオージーラムを来場者に試食提供し、多くの人が列を作った。また、ステージではオージーラムPR大使「ラムバサダー」のシェフによるオージーラムを使ったメニューのクッキングデモ(下写真)も行われ、注目を集めた。

今回のオーストラリアパビリオンにおける狙いとオージーラムの魅力について、ケンダル・ドレーパー商務参事官(上写真)が会場でインタビューに応じた。

今回のFOODEX JAPANにおける、オーストラリアパビリオンのテーマや出展の目的を教えてください。

FOODEX JAPANへの出展は、プレミアムかつサステナブルで高品質な食品・飲料の信頼できる供給国としての豪州のポジションを改めて示すものだ。FOODEX JAPAN2026は、ワイン、乳製品、水産物、生鮮青果物、そしてラム肉に至るまで、豪州が誇るプレミアム農産品を紹介する戦略的プラットフォームとなる。

今年のテーマは「プレミアム品質と産地の信頼性」。豪州のクリーンで世界水準の生産基準、サステナビリティへの取り組み、そして革新性を強調している。

特に今年の注目は、クリーンな風味、安定した品質、そして高い汎用性で評価されるプレミアム・豪州産ラム。シェフによるデモンストレーションや試食を通じて、小売および外食メニューの付加価値向上に貢献できること、そして高品質でサステナブルなタンパク質への高まる需要に応えられることを発信していく。

豪州は、パートナーシップの強化を図るとともに、信頼できるプレミアムサプライヤーとしての評価をさらに確固たるものにしていく。

豪州産ラムの特徴や優位性は。

豪州は広大な国土と多様な気候帯を有しており、地域ごとに異なる飼育環境の下でラムが生産されて



いる。主に広大な放牧地で牧草飼育されることが特徴で、ナチュラルでクリーンなイメージを持つ点は大きな強みだ。

また、現在では品種改良により2元交配以上のラム肉が一般的に輸出向けに流通している。多様な生産スタイルにより、日本市場のニーズに応じた幅広い商品提案が可能だ。世界的にも非常に厳格と評されるトレーサビリティ制度と品質管理体制によって、安全性と安定供給を両立している点も国際市場で高く評価されている。

豪州産ラムの直近の生産や輸出の状況はいかがですか。

豪州産ラムの年間輸出額は約40億豪ドル(約4410億円)に達しており、輸出量は約36万t(出荷重量ベース)と高水準を維持。対日輸出量は年間約1・1万t、輸出額は約1億7800万豪ドル(約178億円)に上る。日本は世界全体で見ると数%規模であるものの、安定した需要を持つ重要な市場の一つだ。

日本市場におけるラム肉拡大に向けた可能性や期待は。

日本では「ラム＝ジンギスカン」というイメージが中心だったが、私たちは用途の多様化を提案すること

で、ラム肉をより身近に扱いやすい食材としてアピールしている。

MLAと共に過去に出展した展示会では、ラムしゃぶや名店とのコラボレーションによるラム串焼きなどを紹介してきた。これらは特に外食産業のメニュー開発担当者から好評を博している。

さらに、ラムは高品質なタンパク質や鉄分、ビタミンB群を豊富に含む栄養価の高い食材であり、健康志向が高まる日本市場においても大きな可能性を有している。栄養価とおいしさを兼ね備えたサステナブルなタンパク源として、小売・外食の双方でさらなる需要拡大が期待されている。今後も日本の食文化に合わせた多様な提案を通じて、市場拡大を目指していく。

牛肉や他の農畜産物と連携した輸出への取り組みなどがありますか。

オーギービーフや乳製品、ワインなどと連携した総合的なプロモーションを行い、「オーストラリアブランド」としての信頼性向上を図っている。さまざまなカテゴリーの商品提案により、外食・小売双方での活用機会を広げている。

MLAなどと協力してのプロモーションやイベント開催等はいかがですか。

業界団体であるMLAと連携し、試食イベントやセミナー、展示会での共同プロモーションを実施している。今後も主要展示会に共同出展し、一貫したメッセージ発信を行っていく予定。6月6～7日には大阪で開催される「大阪羊フェスティバル2026」(主催＝MLA)に参加予定だ。

豪州の畜産業界におけるサステナブルやアニマルウェルフェアへの取り組みをおきかせください。

豪州では、官民一体で環境負荷低減やアニマルウェルフェア向上に取り組んでいる。温室効果ガス削減目標の設定、水資源管理、放牧地保全など、持続可能な畜産体制の構築が進められている。豪州の畜産業界は、政府と業界団体が連携し、30年までのカーボンニュートラル達成を目標に掲げている。

また、国家レベルの個体識別制度(NLIS)による高いトレーサビリティ、輸出サプライチェーン管理制度(ESCAS)による動物福祉の担保など、持続可能性と透明性を両立した生産体制を構築している。

こうした取り組みは、日本市場においても重要性を増すサステナビリティへの要請に応えるものと考え

ている。

また、会期中の11日には、FOODEXステージで、同時開催の食肉産業展50回記念特別企画として、MLAの三橋一法フードサービス・シニアマネージャーが「安全性・多様性・エシカルが交差する “今、のオーギーミート～グラス&グレイン&ラムを食べ比べ～”と題したセミナーを開催。3種類のオーギーミート(グラスフェッドビーフ、グレインフェッドビーフ、ラム)の食べ比べが実施され、いずれも高い評価を得た。

三橋氏は講演の中で、オーギーラムについて「日本において、ラムはジンギスカンだけでなく、さまざまな使われ方をするようになった。しかし、わが国における羊肉の1年間の1人当たりの消費量は300gに過ぎず、まだ多くの人が日常的に食べていないことが分かる。しかし、だからこそ、羊肉の消費は今後は伸びしろしかないと考えている」

「豪州は歴史的に羊毛産業で栄えた国。ポリエステルの台頭で産業が下降に向かうと、畜産にシフトしていった。昔は羊毛に適したメリノ種だったが、今は主に品種交配した2元交配のラムが“プライムラム”として流通しており、昔とは仕上がりが違う」

「宗教を問わない唯一の赤身肉なので、インパウンドなどにも対応しやすい。そしてタンパク質、鉄分、亜鉛、ビタミンB群という四つの栄養素が豊富。鉄分が特に豊富であり、不足しがちな女性に最適といえる。さらに亜鉛は免疫力向上に適しており、ビタミンは肌に良い。そうした意味では、女性に支持される飲食店やナチュラル系の店舗に特に適している」と説明した。

また、MLAでは15年からオーギーラムのアンバサダー制度である「ラムバサダー」プログラムを展開しており、さまざまな食のプロフェッショナル20人がセミナー、展示会、料理教室、レシピ開発などに取り組んでいることを紹介。

最後に三橋氏は「来年は^{ひつじどし}未年。今からラムの魅力伝えていくことで、来年の飛躍に備えていきたい」と強く呼びかけた。

【食肉家計調査・2月】支出肉類計は4・8%増加し8023円 精肉・加工品ともに支出増

総務省統計局が公表した2月家計調査報告(2人以上世帯=1世帯当たり・品目別)によると、肉類支出金額は8023円(前年同月比4・8%増)と12カ月連続で前年を上回った。

生鮮肉への支出金額は6639円(5・5%増)と増加した。内訳をみると、牛肉への支出金額は1494円(6・9%増)と増加、購入量も401g(3・6%増)と増加に転じた。豚肉も支出金額が2929円(5・5%増)、購入量

が1821g(5・7%増)と共に増加。鶏肉の支出金額は1688円(5・4%増)と増加が続いているが、購入量は1484g(1・0%減)と減少した。合いびき肉は支出金額が267円(4・7%増)、購入量も177g(1・7%増)と共に増加した。他の生鮮肉は支出金額が262円(0・8%増)、購入量は120g(14・3%減)。加工肉計の支出金額も1384円(1・5%増)と増加した。

家計調査による肉類支出金額および購入量(全国・2人以上の世帯1世帯当たり・品目別)

単位:円、グラム、%

	肉類計		生鮮肉計		牛肉				豚肉			
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	量	前年比	金額	前年比	量	前年比
R7年2月	7,654	97.6	6,290	97.4	1,398	91.9	387	93.7	2,777	98.9	1,722	91.4
3月	8,356	100.4	6,835	100.4	1,568	92.0	425	91.0	2,991	103.4	1,910	99.4
4月	8,252	104.7	6,695	105.3	1,618	101.0	439	97.6	2,891	107.3	1,843	102.9
5月	8,635	104.1	6,986	104.5	1,755	97.8	445	93.3	2,947	107.5	1,877	102.3
6月	8,175	103.1	6,552	102.9	1,596	99.1	437	101.9	2,844	104.3	1,814	100.6
7年上半期計	49,187	101.7	40,088	101.7	9,568	95.8	2,568	95.5	17,351	103.7	10,955	99.1
7月	8,114	105.0	6,493	105.0	1,588	102.2	438	106.6	2,824	103.7	1,729	101.6
8月	8,626	104.7	6,934	105.0	1,846	99.5	494	102.1	2,889	105.1	1,801	105.5
9月	8,001	102.9	6,519	103.3	1,532	93.2	418	86.9	2,859	106.4	1,807	103.9
10月	8,410	103.6	6,894	104.3	1,593	97.7	416	98.6	3,021	106.0	1,892	106.7
11月	8,845	107.2	7,245	108.9	1,735	111.2	473	103.5	3,185	108.8	1,990	107.2
12月	11,059	102.0	9,093	102.2	3,018	97.7	608	98.1	3,285	104.4	1,958	98.2
7年計	102,244	102.9	83,265	103.2	20,880	97.9	5,401	97.7	35,416	104.7	22,142	101.4
R8年1月	8,644	106.5	7,217	107.2	1,724	105.6	407	93.6	3,126	107.8	1,913	106.9
2月	8,023	104.8	6,639	105.5	1,494	106.9	401	103.6	2,929	105.5	1,821	105.7

	鶏肉				合いびき肉				他の生鮮肉			
	金額	前年比	量	前年比	金額	前年比	量	前年比	金額	前年比	量	前年比
R7年2月	1,601	99.8	1,499	94.6	255	101.2	174	95.1	260	97.4	140	102.2
3月	1,719	104.2	1,650	102.2	290	98.0	207	95.4	267	101.1	156	102.0
4月	1,630	105.9	1,549	102.7	302	105.2	208	104.5	253	108.1	123	100.0
5月	1,664	105.0	1,564	99.7	326	104.8	227	100.9	293	114.5	140	118.6
6月	1,572	103.1	1,458	93.0	313	110.6	216	105.9	229	103.6	105	97.2
7年上半期計	9,836	103.4	9,283	99.3	1,737	102.9	1,206	99.0	1,597	107.0	806	103.3
7月	1,538	109.0	1,436	103.7	305	102.7	210	99.1	237	119.7	128	120.8
8月	1,575	110.4	1,449	103.6	303	103.4	197	98.0	321	116.3	131	127.2
9月	1,599	109.0	1,441	94.4	294	104.3	204	102.0	236	103.5	117	86.7
10月	1,734	108.7	1,583	99.9	280	100.4	185	93.4	266	103.5	167	140.3
11月	1,789	109.8	1,630	102.8	266	106.0	181	107.7	269	95.4	139	97.9
12月	2,112	106.0	1,833	101.8	261	104.4	181	98.9	417	100.7	171	92.9
7年計	20,182	106.0	18,659	100.1	3,446	103.2	2,363	99.3	3,342	106.2	1,650	105.8
R8年1月	1,796	108.8	1,566	100.2	288	114.7	184	105.7	282	95.6	129	90.8
2月	1,688	105.4	1,484	99.0	267	104.7	177	101.7	262	100.8	120	85.7

	ハム				ソーセージ				ベーコン			
	金額	前年比	量	前年比	金額	前年比	量	前年比	金額	前年比	量	前年比
R7年2月	287	98.6	134	92.4	635	100.6	407	99.0	196	96.1	95	82.6
3月	311	94.2	141	82.0	718	105.0	467	106.1	222	100.0	107	93.0
4月	339	103.0	158	99.4	683	100.0	456	101.8	223	100.0	116	91.3
5月	371	98.1	172	90.1	689	100.6	438	95.2	230	105.5	124	103.3
6月	428	102.9	206	98.6	659	100.9	410	97.4	213	99.1	104	88.1
7年上半期計	2,047	99.3	960	92.7	4,009	101.6	2,571	99.6	1,271	99.4	639	90.9
7月	437	100.7	208	95.9	652	104.2	419	102.4	195	97.5	98	89.9
8月	428	101.4	196	95.1	692	103.4	449	99.8	209	103.5	106	101.9
9月	347	101.2	164	96.5	642	101.3	423	97.7	192	94.1	94	87.0
10月	336	99.1	156	100.6	689	101.3	449	104.9	197	99.0	100	97.1
11月	414	93.5	185	86.0	690	101.2	442	98.4	207	99.5	103	95.4
12月	670	103.4	276	101.8	760	99.5	487	101.5	231	99.6	104	87.4
7年計	4,678	99.7	2,153	94.7	8,133	101.6	5,241	100.2	2,502	99.1	1,243	91.9
R8年1月	309	99.4	139	93.3	646	103.4	418	106.4	198	105.9	92	98.9
2月	289	100.7	133	99.3	628	98.9	416	102.2	193	98.5	96	101.1

【調理食品支出金額・2月】 合計 1万2694円で4・9%増

総務省家計調査によると、2月の調理食品支出金額は1万2694円(前年同月比4・9%増)と引き続き増加している。

弁当や調理パンなどの主食的調理食品の支出金額は6101円(9・3%増)と前年超え。他の調理食品も6592円(1・0%増)と増加した。このうち天ぷら・フライは1122円(8・0%増)、シューマイは93円(4・5%増)、焼き鳥は197円(2・1%増)、カツレツは182円(1・7%増)と前年を上回ったが、ギョーザは151円(13・2%減)、ハンバーグは125円(8・1%減)、コロケは181円(6・2%減)、冷凍調理食品は891円(0・4%減)と減少した。

調理食品支出金額

単位:円、%

	12月		令和8年1月		2月	
	金額	指数	金額	指数	金額	指数
調理食品	17,708	103.7	13,470	105.8	12,694	104.9
主食的調理食品	6,495	101.4	5,898	104.8	6,101	109.3
弁当	1,553	99.7	1,479	102.9	1,457	109.1
すし(弁当)	1,680	97.7	1,530	107.7	1,881	116.5
おにぎり・その他	513	94.1	466	96.3	473	105.1
調理パン	595	104.8	559	104.9	565	106.0
他の主食的調理食品	2,154	107.0	1,863	106.2	1,726	104.7
他の調理食品	11,213	105.0	7,572	106.7	6,592	101.0
うなぎのかば焼き	149	117.3	102	113.3	110	105.8
サラダ	593	97.1	513	92.9	485	97.4
コロケ	192	99.0	192	103.2	181	93.8
カツレツ	190	112.4	193	107.8	182	101.7
天ぷら・フライ	1,510	104.9	1,153	108.1	1,122	108.0
シューマイ	100	95.2	101	105.2	93	104.5
ギョーザ	165	96.5	172	104.2	151	86.8
焼き鳥	238	90.8	235	112.4	197	102.1
ハンバーグ	140	100.7	138	107.0	125	91.9
冷凍調理食品	1,162	114.1	984	109.0	891	99.6
総菜材料セット	514	124.5	341	102.7	246	81.2
他の調理食品のその他	6,262	103.9	3,448	108.2	2,810	103.3

資料:総務省「家計調査報告(全国・全世帯1世帯あたり品目別)」

オークワの2月期決算は、ディスカウンター攻勢で苦戦ながら増収増益

オークワの2月期連結決算は営業収益2526億5500万円(前期比1・0%増)、営業利益18億7800万円(41・4%増)、経常利益19億7300万円(36・8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益2億6400万円(前期は赤字)。

収益性が低い店舗について、固定資産の減損に関わる会計基準に基づいた減損処理を行い、減損損失9億3400万円を計上した。

商品別既存店売り上げ前期比は、食料品が0・1%増、うち生鮮が0・2%減、農産1・7%減、畜産増減なし、水産1・8%減、総菜1・7%増。既存店客数2・7%減、客単価2・5%増、一点単価4・5%増、買上点数2・

0%減。期末店舗数は1店舗減の153店舗。

諸物価の高騰やディスカウンター攻勢の激化による競合対応などで厳しい戦いが強いられているものの、黒字着地となった。今期は既存店の改装を含めたブラッシュアップに注力し、店舗活性化を図っていく。

27年2月期を最終年度とする中期経営計画における営業利益70億円の目標について、達成が難しいことから目標数値を取り下げるとしている。

次期の見通しは営業収益2555億円(前期比1・1%増)、営業利益21億円(11・8%増)、経常利益21億円(6・4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益6億5千万円(145・8%増)

近江牛バーガー SUDAKU

ゆずの爽やかな香りを楽しむ春限定バーガー 2種を発売

(株)総合近江牛商社が運営する「近江牛バーガー SUDAKU(滋賀県蒲生郡竜王町)」は、新商品「ゆずバーガー」「ゆずたまバーガー」の販売を開始する。

ゆずの爽やかな香りで軽やかに仕上げた「ゆずバーガー(税込み850円)」と、卵のコクを加えた満足

感のある「ゆずたまバーガー(税込み950円)」。同社近江牛100%のコクがあるパティに、かんぎつの酸味を重ねることで、重さを感じさせない絶妙なバランスとなっている。

日英両国が有機畜産物・畜産加工品の相互承認を開始

英国政府のデйм・アンジェラ・イーグル食料安全保障担当大臣は1日、英国と日本が有機畜産物および畜産物加工品に関する基準の同等性を正式に相互承認したことを発表。今回の合意は、日英間の既存の有機同等性枠組みを拡張し、有機畜産物を初めて対象に含めるもので、同日に発効した。対象製品には、牛肉、羊肉、豚肉、鶏肉などの有機畜産物、生ベーコン・ソーセージ・ハムなどの加工肉製品、バター、チーズ、ヨーグルト、脱脂粉乳、加工卵、さらにペットフードなどの動物性原料を含む加工食品が含まれる。これにより、英国ですでに認証を受けている有機チーズやバター、ベーコンなどの畜産物、さらに有機ミルクチョコレートやビスケットといった畜産加工品が、追加の有機JAS認証なしで、日本市場で「オーガニック」として販売できるようになった。

今回の合意は、2022年の有機農産物、25年10月の有機酒類に関する相互承認に続くもの。両国の有機認証を同等のものとして取り扱う「有機同等性」の実現は、英国政府が重点的に取り組んできた市場アクセス分野の重要課題の一つであり、業界の試算では、年間数百万ポンド規模の追加的な輸出拡大につ

ながる可能性があるとされている。両国間では、輸出時に必要とされていた煩雑な手続きや関連コストが大幅に削減される。

日英間では、すでに有機食品が活発に取引されている。英国産の紅茶、果汁飲料、穀物、ソース類、シロップなどは日本で人気を博しており、日本産のしょうゆ、麺類、緑茶などは英国で親しまれている。英国の有機市場は成長を続けており、25年には小売市場規模が前年比4.2%増の39億ポンドに達した。英国産の有機食品はEU、スイス、米国、韓国などにも輸出されている。日本は2023年時点で約14億ポンドの規模を有する、アジア第2位の有機市場であり、日本政府による有機食品に対する生産・消費促進政策を背景に急速に成長している。

イーグル食料安全保障担当大臣は「ウェールズ産の有機チーズから世界に誇る英国産の有機牛肉まで、英国の農家と生産者は品質において最高水準を誇っている。今回の合意は貿易の障壁を取り除き、世界最高水準の有機食品を求める日本の消費者に扉を開くものだ」とコメントしている。

中国政府、養豚目標数の下方修正を予告、中国で食料需要の減少が継続

中国では工業、農業を問わずほぼ全ての生産が過剰となっている。複数の畜産関係団体も年次総会などでは、人口減少と景気不振による需要の減少が将来も続くとし、業界が生き残るためには生産物の高度加工や輸出促進が必須であると決まり文句のように唱えられている。

このような中、中国畜産物の中で最も厳格な生産調整が行われている養豚業について、3月19日、中国農業農村部が養豚企業と座談会を行い、減産への協力と需要に見合った出荷調整をするよう求めていたことが明らかとなった。畜産関係のメディア情報を基に、中国養豚業の現状および政府による生産調整の状況を紹介する。

3月21日、中国の「外三元」(外国から導入されたデュロック、ランドレースおよび大ヨークシャーから産

出された豚の総称。中国産豚の90%以上を占める)の生体豚の平均価格が、1キログ当たり9・83元(230円)と直近7年間の最低価格を更新した。中国養豚業界では1キログ当たり10元(234円)が経営を維持できる下限であるとの認識が一般的で、10元前後での価格安が続く今の状態は、アフリカ豚熱の発生で豚肉消費が落ち込んだ18年に次ぐ苦境であるという(この10年間の最低価格は18年第2四半期の9・92元<232円>)

生体豚の取引価格は26年、特に3月に入ってから急激な落ち込みをみせ、農業農村部の公表によると、子豚取引価格は、3月第2週は第1週に比べ2%下落し、前年同期比で見ると27・1%の下落となった。豚肉先物取引の専門家は、「養豚業界は25年9月下旬から赤字状態になり、1月には一時的に黒字となった

が、春節(旧正月。26年は2月17日)以降は加速度的に経営が悪化し、多くの企業が流動資金に困難を抱えつつある」とした。

豚肉価格と明らかな対比をみせているのは飼料価格である。大豆かすは今年に入って11%、トウモロコシはこの半年で8%価格が上昇しており、同専門家は今後も2カ月は上昇傾向が続き、養豚企業の経営がより厳しくなるだろうとする。

養豚業上場企業19社の1月および2月の簡易業績発表によれば、業界最大手の牧原は売上げがそれぞれ前月比11・9%(1月)と24・0%(2月)下落し、この理由は豚肉関連商品の販売不振にあるとした。同じく大手の温氏は2月の売上げが39・6億円(927億円)で、15・6%下落し、25年1年間で最低となった同年同月に比べてさらに15・8%低い売上げであった。これらの企業はいずれも流動資金には余裕があり、経営には問題がないと発表している。

養豚業界の現状に鑑み、3月3日、農業農村部は主要な養豚企業を集め、「今後、母豚の飼養頭数目標を

(現在の3900万頭前後から)3650万頭に引き下げる予定である」と通知した。同日の2日後(3月5日)には全国人民代表大会(日本の通常国会に相当し、2週間程度続く)が開催されるタイミングで、代表(日本の国会議員に相当)の中には養豚業界の関係者が複数含まれることを見越し、これらの者、ひいては養豚業界を代表する各企業に対して、企業の社会的責任を果たし、率先して政府方針に協力し、政策が成果を上げるよう減産を促す意図がある。

大会終了後、同部は再度座談会を召集し、改めて生体豚価格の厳しい状況を紹介した上で、政府はすでに豚肉の貯蔵数量を増やす準備を進め、関係機関に具体的な指示を出しているとした。また、参加企業に対し、減産への協力と、需要に見合った出荷調整を適切に行うことを改めて求めた。養豚企業が対象の座談会は25年9月以降3回目、極めて異例なことである。減産によって養豚業界を安定させるとの政府の強い意思を示すものといえるだろう。(農畜産業振興機構)

和牛通販サイト「Wagyu Selection」が「和牛ギフト」「自宅用」展開

(株)オニオン新聞社と小川畜産グループの小川フード&サービス(株)による共同プロジェクト「Wagyu Selection by OGAWA×onion」(<https://wagyu-selection.com>)は、6日から、松阪牛・常陸牛・前沢牛・国産黒毛和牛の合計432商品の単品販売を開始した。和牛ギフトや自宅用の商品ラインアップを強化することで、「和牛の総合通販サイト」を目指す。

背景としては、同サービス開始以降「特定の銘柄を直接プレゼントしたい」「自宅用にも取り寄せたい」というユーザーのニーズを反映したもの。従来は、プレゼントされた側が、約40種の中から「選べる」カタログギフトが中心であった。

従来のカタログギフトに加えて、ユーザーが選んだ和牛をそのまま贈れる「和牛ギフト」と、ユーザー自身で選んで購入できる、「ご自宅用」の二つの選択肢を新たに追加した。

「和牛ギフト」は、選んだ和牛を、高級感のあるギフトボックスに入れて、プレゼント先の相手に冷凍便で届ける。のしは無料で対応する。

「ご自宅用」は、簡易包装で届けるため、「和牛ギフ



ト」よりもお得に購入できる。さまざまなシーンに合わせて選べるのが魅力だ。

サイト内では、前述の用途に加え、銘柄(松阪牛、常陸牛、前沢牛、黒毛和牛)、食べ方(すき焼き[カタ・モモ]、すき焼き[カタルース・ロース]、しゃぶしゃぶ[モモ]、焼き肉霜降り[カタ・モモ・バラ・ロース]など9種)、グラム数(ステーキ 最少200g～、切り落とし 最大4080gまでなど。各商品ごとに少量から大容量まで6パターン)の合計432商品の中から、好みに合わせたスタイルで購入できる。

[資料] 2026年2月分の食肉輸入通関実績⑧

品別国別 (COMMODITY BY COUNTRY)

(単位: 1,000円、UNIT:¥1,000)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE

CHINA	105 KG	202	928	202	928
VIETNAM	110 KG	3110	1570	7612	3713
THAILND	111 KG	-	-	66	1811
TOTAL	990 KG	3545	5730	8113	9684

0410.90-100 あなつばめの巣

MALYSIA	113 KG	500	44311	1020	94377
INDNSIA	118 KG	1	328	87	10421
TOTAL	990 KG	501	44639	1107	104798

0410.90-200 食用の動物性生産品(他の項に該当するものを除く。)(昆虫類、あなつばめの巣及びプロポリス原塊を除く。)

CHINA	105 KG	20	326	20	326
TOTAL	990 KG	20	326	20	326

0410.90-300 プロポリス原塊

BULGAR	232 KG	30	498	30	498
BRAZIL	410 KG	3030	58279	3110	60300
TOTAL	990 KG	3060	58777	3140	60798
(E. U)	991 KG	30	498	30	498

0501.00-000 人髪(加工してないものに限るものとし、洗ってあるかないかを問わない。)及びそのくず

CHINA	105 KG	330	3570	330	3570
TOTAL	990 KG	330	3570	330	3570

0502.10-000 豚毛及びいのししの毛並びにこれらのくず

CHINA	105 KG	3950	25519	9092	42989
TOTAL	990 KG	3950	25519	9092	42989

0502.90-000 あなぐまの毛その他ブラシ製造用の獣毛及びこれらのくず(豚毛及びいのししの毛並びにこれらのくずを除く。)

CHINA	105 KG	871	8440	1289	15523
U KING	205 KG	5	8605	5	8605
TOTAL	990 KG	876	17045	1294	24128

0504.00-011 動物(魚を除く。)の腸(ソーセージケーシング用のもの)(生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩水漬けし、乾燥し又はくん製したもの)

CHINA	105 KG	261784	1179659	422076	1960797
MONGOL	107 KG	2656	29070	3768	41140
USA	304 KG	7429	10495	8231	13121
AUSTRAL	601 KG	56112	249638	113500	487655
NEWZELD	606 KG	18184	83331	68380	332596
TOTAL	990 KG	346165	1552193	615955	2835309

0504.00-012 牛の腸(ソーセージケーシング用のものを除く。)(生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩水漬けし、乾燥し又はくん製したもの)

SPAIN	218 KG	-	-	31919	11985
CANADA	302 KG	68031	24420	181416	65410
USA	304 KG	826274	426513	1584561	806973
MEXICO	305 KG	43768	20012	103941	46947
PANAMA	312 KG	-	-	1855	492
AUSTRAL	601 KG	101633	61605	209803	112992
TOTAL	990 KG	1039706	532550	2113495	1044799
(E. U)	991 KG	-	-	31919	11985

0504.00-019 動物(魚を除く。)の腸(ソーセージケーシング用のものを除く。)(牛のものを除く。)(生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩水漬けし、乾燥し又はくん製したもの)

SPAIN	218 KG	32040	13257	54340	24721
CANADA	302 KG	71930	28021	169530	68071
USA	304 KG	118943	54515	235331	110973
MEXICO	305 KG	19050	8095	44917	19132
PANAMA	312 KG	1345	332	3745	970
CHILE	409 KG	1510	861	2520	1366
URUGUAY	412 KG	950	508	3410	1825
TOTAL	990 KG	245768	105589	513793	227058
(E. U)	991 KG	32040	13257	54340	24721

0504.00-091 牛のぼうこう又は胃の全形のもの及び断片(生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩水漬けし、乾燥し又はくん製したもの)

IRELAND	206 KG	45164	51841	45164	51841
SPAIN	218 KG	-	-	2348	932
USA	304 KG	83524	73506	134735	139384
MEXICO	305 KG	8966	3539	42155	25884
NICARAG	310 KG	21195	27688	44476	69557
GST RCA	311 KG	35556	41907	77162	80299
PANAMA	312 KG	11108	14464	27444	41605
CHILE	409 KG	8313	11943	21033	25064
AUSTRAL	601 KG	144798	93557	545163	355976
NEWZELD	606 KG	6109	8453	12769	15609
TOTAL	990 KG	364733	326898	952449	806151
(E. U)	991 KG	45164	51841	47512	52773

0504.00-099 動物のぼうこう又は胃の全形のもの及び断片(牛のものを除く。)(生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩水漬けし、乾燥し又はくん製したもの)

THAILND	111 KG	167323	86904	517817	240795
MEXICO	305 KG	-	-	1990	1454
PANAMA	312 KG	640	344	2340	1273
CHILE	409 KG	-	-	5004	1326
BRAZIL	410 KG	256374	67351	463879	127148
ARGENT	413 KG	27435	5651	27435	5651
AUSTRAL	601 KG	12000	2903	18855	4769
NEWZELD	606 KG	-	-	4535	17414
TOTAL	990 KG	463772	163153	1041855	399830

0505.10-000 綿毛及び詰物用の羽毛(加工してないもの及び単に清浄にし、消毒し又は保存のために処理したもの)

CHINA	105 KG	18100	159967	30200	267959
TAIWAN	106 KG	25580	74939	56000	178113
ICELAND	201 KG	-	-	70	26640
FRANCE	210 KG	1807	21929	4027	51016
GERMANY	213 KG	-	-	1069	37675
SPAIN	218 KG	6204	70331	18634	211345
POLAND	223 KG	3830	111096	10495	306017
HUNGARY	227 KG	-	-	18962	274554
BULGAR	232 KG	1968	23262	15321	161855
TOTAL	990 KG	57489	461524	154778	1515174
(E. U)	991 KG	13809	226618	68508	1042462

0505.90-000 羽毛皮その他の羽毛付きの鳥の部分、羽毛及びその部分並びに羽毛又はその部分の粉及びくず(加工してないもの及び単に清浄にし、消毒し又は保存のために処理したもの)

CHINA	105 KG	246	1705	706	4687
MONGOL	107 KG	-	-	21	359
TOTAL	990 KG	246	1705	727	5046

0506.10-000 オセイン及び酸処理した骨

THAILND	111 KG	220000	110325	340000	170516
INDIA	123 KG	256000	124212	370000	175903
PAKISTN	124 KG	147000	74255	399000	195778
TOTAL	990 KG	623000	308792	1109000	542197

0506.90-090 骨及びホーンコア(加工してないもの及び脱脂し、単に整え、酸処理し又は脱膠したもので、特定の形状に切ったものを除く。)並びにこれらのくず(オセイン及び酸処理した骨を除く。)

CHINA	105 KG	16315	14429	29575	26265
TAIWAN	106 KG	18420	6055	85180	37755
VIETNAM	110 KG	1465	2098	8712	10599
THAILND	111 KG	30000	9711	64550	28877
INDNSIA	118 KG	169536	17362	394469	47757
NETHLS	207 KG	-	-	24200	2575
SPAIN	218 KG	209646	23430	834506	93520
ITALY	220 KG	-	-	4000	1249
FINLAND	222 KG	24000	2163	24000	2163
AUSTRIA	225 KG	131150	10883	242130	21765
CANADA	302 KG	264979	37614	481167	68622

[資料] 2026年2月分の食肉輸入通関実績⑨

品別国別 (COMMODITY BY COUNTRY)

(単位: 1,000円、UNIT:¥1,000)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 CODE	数量 UNIT	当 月 CURRENT MONTH		累 計 CUMULATIVE YEAR TO DATE	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 CODE	数量 UNIT	当 月 CURRENT MONTH		累 計 CUMULATIVE YEAR TO DATE	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE

USA	304 KG	1022364	81030	2147927	168184
MEXICO	305 KG	56767	7299	197723	24299
BRAZIL	410 KG	530088	84496	1171283	189306
AUSTRAL	601 KG	-	-	8188	2130
NEWZELD	606 KG	60	292	123710	35921
TOTAL	990 KG	2474790	296862	5841320	760987
(E. U)	991 KG	364796	36476	1128836	121272

MALYSIA	113 KG	-	-	1296	1658
INDNSIA	118 KG	13630	7768	19400	10349
LITHUAN	237 KG	-	-	3240	2357
BRAZIL	410 KG	37800	20022	68940	36680
TOTAL	990 KG	40294400	28436983	82003371	57857730
(E. U)	991 KG	-	-	3240	2357

1601.00-900 ソーセージその他これに類する物品(肉、くず肉又は血から製造したもの)及びこれらの物品をもと

した調製食品					
CHINA	105 KG	441491	303000	990667	710914
TAIWAN	106 KG	6320	10465	12440	19999
THAILND	111 KG	451816	358589	826967	661947
PHILPIN	117 KG	-	-	10067	7668
DENMARK	204 KG	43982	35006	124420	102298
FRANCE	210 KG	1755	4817	21268	48914
SPAIN	218 KG	12137	26415	46415	95259
ITALY	220 KG	8776	10663	20060	24408
FINLAND	222 KG	22941	22463	68922	67744
AUSTRIA	225 KG	1136	1727	8362	14097
TURKEY	234 KG	-	-	23019	4968
SLOVENI	242 KG	2956	5414	4549	8325
CANADA	302 KG	12600	12265	13428	14046
USA	304 KG	407497	385566	795050	805846
BRAZIL	410 KG	321422	178113	791170	427495
AUSTRAL	601 KG	5550	9753	5550	9753
TOTAL	990 KG	1740379	1364256	3762354	3023681
(E. U)	991 KG	93683	106505	293996	361045

1602.39-290 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(第01.05項の家きんのもの(七面鳥を除く。))(その他のもの)

CHINA	105 KG	687556	563262	1214140	976298
THAILND	111 KG	5145	9362	5145	9362
TOTAL	990 KG	692701	572624	1219285	985660

1602.41-019 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(豚のもも肉及びこれを分割したもの)(ハム及びベーコン(滅菌したものを除く。)、プレスハム(豚の肉又はくず肉及びつなぎから成るものに限る。))並びにその他の調製をし又は保存に適する処理をした物品で豚の肉又はくず肉(1個の重量が10g以上のものに限る。)のみから成るもの(課税価格が1kgにつき、豚肉加工品に係る分岐点価格を超えるもの)

CHINA	105 KG	996	6145	3635	11598
FRANCE	210 KG	118	458	280	1045
ITALY	220 KG	1005	1505	5368	7707
AUSTRIA	225 KG	-	-	1796	7312
TOTAL	990 KG	2119	8108	11079	27662
(E. U)	991 KG	1123	1963	7444	16064

1602.10-100 均質調製品(昆虫類から成るもの)

R KOREA	103 KG	-	-	624	532
TOTAL	990 KG	-	-	624	532

1602.20-091 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(動物(牛及び豚を除く。))の肝臓のもの(気密容器入りのもの)(均質調製品を除く。)

FRANCE	210 KG	788	7118	788	7118
BULGAR	232 KG	180	1036	180	1036
TOTAL	990 KG	968	8154	968	8154
(E. U)	991 KG	968	8154	968	8154

1602.41-090 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(豚のもも肉及びこれを分割したもの)(その他のもの)

R KOREA	103 KG	11793	9972	11793	9972
CHINA	105 KG	106165	80543	232335	160012
TAIWAN	106 KG	15208	28027	16744	30750
THAILND	111 KG	39410	46686	85096	96304
DENMARK	204 KG	12800	11610	12800	11610
USA	304 KG	48384	26932	49844	31867
TOTAL	990 KG	233760	203770	408612	340515
(E. U)	991 KG	12800	11610	12800	11610

1602.20-099 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(動物(牛及び豚を除く。))の肝臓のもの(均質調製品を除く。)(その他のもの)

CHINA	105 KG	110420	80042	205933	150545
MONGOL	107 KG	300	360	300	360
THAILND	111 KG	7789	11362	15773	24342
TOTAL	990 KG	118509	91764	222006	175247

1602.42-019 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(豚の肩肉及びこれを分割したもの)(ハム及びベーコン(滅菌したものを除く。))、プレスハム(豚の肉又はくず肉及びつなぎから成るものに限る。))並びにその他の調製をし又は保存に適する処理をした物品で豚の肉又はくず肉(1個の重量が10g以上のものに限る。)のみから成るもの(課税価格が1kgにつき、豚肉加工品に係る分岐点価格を超えるもの)

CHINA	105 KG	5166	5678	5166	5678
THAILND	111 KG	7573	10724	10072	14585
SPAIN	218 KG	143	241	938	2123
AUSTRAL	601 KG	-	-	1903	3335
TOTAL	990 KG	12882	16643	18079	25721
(E. U)	991 KG	143	241	938	2123

1602.31-290 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(七面鳥のもの)(均質調製品を除く。)(その他のもの)

LITHUAN	237 KG	-	-	41650	40265
TOTAL	990 KG	-	-	41650	40265
(E. U)	991 KG	-	-	41650	40265

1602.32-210 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(鶏(ガルルス・ドメスティクス)のもの(牛若しくは豚の肉又は牛若しくは豚のくず肉を含有するもの)(均質調製品を除く。))

R KOREA	103 KG	9792	4900	9792	4900
CHINA	105 KG	89458	35476	130858	50940
TOTAL	990 KG	99250	40376	140650	55840

1602.42-090 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(豚の肩肉及びこれを分割したもの)(その他のもの)

R KOREA	103 KG	-	-	14851	7862
CHINA	105 KG	25320	15394	47848	32396
TAIWAN	106 KG	576	629	576	629
THAILND	111 KG	18260	35124	56859	99463
SNGAPOR	112 KG	1650	3624	3270	13672
DENMARK	204 KG	317230	183856	574854	337669

1602.32-290 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(鶏(ガルルス・ドメスティクス)のもの)(均質調製品を除く。)(その他のもの)

R KOREA	103 KG	75394	51536	124065	82850
CHINA	105 KG	15423481	9829246	30580020	19619283
VIETNAM	110 KG	708308	553775	1582510	1238292
THAILND	111 KG	24035787	17974636	49623900	36866261

(続く)

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 4月8日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A 135頭	高値	4,142	2,692	-	-	-
		安値	2,560	2,484	-	-	-
		平均	2,954	2,593	2,432	-	-
		頭数	120	14	1	-	-
	雌 B 1頭	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	2,389	-	-	-	-
	去 A 168頭	高値	3,553	2,690	2,523	-	-
		安値	2,439	2,485	2,447	-	-
		平均	2,781	2,594	2,487	-	-
		頭数	135	25	8	-	-
	去 B -頭	高値	-	-	-	-	-
安値		-	-	-	-	-	
平均		-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B 11頭	平均	1,963	-	1,773	1,711	-
		頭数	1	-	7	3	-
	雌 C 3頭	平均	-	-	1,717	1,618	-
		頭数	-	-	2	1	-
	去 B 4頭	平均	-	1,922	1,800	1,711	-
		頭数	-	1	1	2	-
去 C 3頭	平均	-	-	1,739	-	-	
頭数	-	-	3	-	-		

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	407 405	876 776	- 223.5	(競り)	(相対)	
				-	10	55

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,567	2,181	2,009	1,810	-
	B	-	1,857	1,787	1,775	-
和 去	A	2,672	2,568	2,160	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	-	1,197
	C	-	-	-	1,282	1,136
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	1,950	1,861	1,795	1,644	-
	C	-	-	-	1,480	-
交 去	B	1,984	1,838	1,794	1,768	-
	C	-	-	1,760	-	1,185

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	855	934	959	887	703
	安値	734	713	659	583	400
	平均	778	760	716	698	485
	頭数	(3)	(235)	(258)	(161)	(119)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
搬入 相対	高値	-	-	-	-	512
	安値	-	-	-	-	512
	平均	-	-	-	-	512
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(10)

[大阪食肉卸売市場] 4月8日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5 [極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,698	2,517	2,395	-	-
(頭数)	(11)	(2)	(1)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
和 去 A	2,720	2,580	-	-	-
(頭数)	(33)	(5)	(-)	(-)	(-)
B	2,528	-	-	-	-
(頭数)	(1)	(1)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,837	1,813	-	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	1,890	1,835	-	-
C	-	-	-	-	-
豚	-	717	713	685	486

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	4月8日	4月7日	(4月累計)
豚	60,300	55,400	359,100
成牛計	4,640	4,270	25,760
和牛雌	1,190	1,140	6,350
和牛去勢	1,310	1,360	7,200
乳牛雌	680	660	4,050
乳牛去勢	480	360	2,430
交雑雌	540	290	2,950
交雑去	440	450	2,770

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 4月8日

東京	1,782 円	(前日 1,771 円)
大阪	1,823 円	(前日 1,846 円)

[豚・全農建値] 4月8日

上	中	取引頭数	市況
748 円	720 円	1,277 頭	急落

と畜 売買	牛 69 頭	豚 129 頭	牛概況	もちあい
	牛 68 頭	豚 141 頭	豚概況	まちまち

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 4月8日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	691 (691)	- (-)	5,582	-	もちあい
仙台 [中]	723 (736)	634 (662)	394	19	反落
栃木 [地]	813 (-)	764 (-)	1,501	81	続伸
茨城 [地]	768 (752)	742 (720)	975	510	上伸
群馬 [地]	735 (740)	639 (654)	1,970	245	小幅反落
さいたま [中]	728 (750)	720 (733)	199	204	下押し
東京 [中]	760 (774)	716 (753)	876	776	急反落
横浜 [中]	758 (756)	724 (733)	640	636	もちあい
山梨 [地]	706 (714)	701 (709)	157	148	まちまち
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	759 (755)	728 (735)	880	130	強もちあい
京都 [中]	- (736)	- (714)	-	-	休市
大阪 [中]	717 (-)	713 (-)	129	119	まちまち
神戸 [中]	- (760)	- (758)	-	-	休市
岡山 [地]	706 (694)	701 (683)	293	347	強気配
広島 [中]	748 (735)	716 (705)	173	50	続伸
福岡 [中]	713 (740)	679 (705)	420	132	反落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 4月1日～4月7日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

[食鳥正肉日経相場] 4月7日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇首都圏 総重量 1,530,914 kg

◇東京 (8社)

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩コース	1,134	1,224	1,299	1,230	65,051
うで	755	807	873	813	111,679
コース	1,131	1,257	1,361	1,241	128,816
ばら	1,200	1,261	1,296	1,247	233,934
もも	788	842	874	835	133,315
ヒレ	1,076	1,130	1,205	1,133	10,419
セット	1,034	1,080	1,097	1,072	847,700

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	765	831	1,005	162
ムネ	438	496	675	165

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	777	854	1,050	3
ムネ	449	516	610	2

◇近畿圏 総重量 717,932 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩コース	1,274	1,372	1,425	1,360	63,052
うで	782	804	842	806	110,841
コース	1,166	1,245	1,296	1,245	99,012
ばら	1,296	1,350	1,428	1,360	129,525
もも	789	804	861	811	161,883
ヒレ	1,106	1,323	1,375	1,288	11,668
セット	1,034	1,076	1,150	1,086	141,951

[農水省統計情報部食鳥市況] 4月7日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値					
安値					
平均					

7日分は10日掲載

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間中(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510
TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928
TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランケット判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーションリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します